

ドキュメンタリー上映会・講演会

ピュア

難民キャンプの子どもたち
希望の鐘

2011年12月11日(日曜日) 10:00-12:00 (開場 9:30-)

キャンパスプラザ京都 第一講義室

JR 京都駅西側ビックカメラ前 (京都市下京区西洞院通塩小路下る) < 一般参加費 500円 / 学生無料 >

主催 メラウーキャンプ教育支援の会・SCDB (ビルマ民主化支援会)
難民研究会(立命館大)・12/11 実行委員会 (関西外大・立命館大)
共催 アムネスティ京都グループ・ピースムーブメント実行委員会
問合せ先 メラウーキャンプ教育支援の会-京都 (uri@m6.gyao.ne.jp) (090-1913-2237)



東南アジアの国、ビルマ (ミャンマー) とタイの国境地帯には、ビルマ軍事政権から追われてきた 45 万人以上の人々を収容する巨大な難民キャンプが点在します。難民キャンプにいける子どもたちと、子どもたちの明日をてらすための就学を懸命にささえようとする人々……。

全国の上映会で大きな感動を呼び、話題となったドキュメンタリー前作『ピュア』にひきつづき、新たな続編『ピュア・希望の鐘』が制作されました。監督であり、自らもビルマ政治難民であるココラット氏をむかえ、アウンサンスーチー氏解放後のビルマの民主化の動向や、難民キャンプについてなど、直接お話を聞きながら、ともに学び知る機会をもちたいと思います。お友達お誘い合わせのうえ、ぜひご参加くださいませ。



10:00 司会 竹間優美子 (立命館大学・関西外国語大学講師)
10:05 プレゼンテーション 難民研究会 (立命館大学)
10:20 ドキュメンタリー 『ピュア・希望の鐘』
11:20 講演『ビルマの未来』 ココラット (SCDB 代表)
11:50 質疑応答

ココラット: 1988年からビルマの民主化運動に加わる。元全ビルマ高校生連盟書記長。1990年の総選挙の日、反政府活動を理由に逮捕された。釈放後も監視下に置かれたため、1991年タイ経由で日本へ逃れ、ビルマの民主化運動を続ける。2001年に政治難民に認定。現在、SCDB (ビルマ民主化支援会) 代表として各地で講演や民主化運動を続けている。

